

《多職種連携研修会》

認知症ケア「心の奥に気づくには」DVD視聴研修会

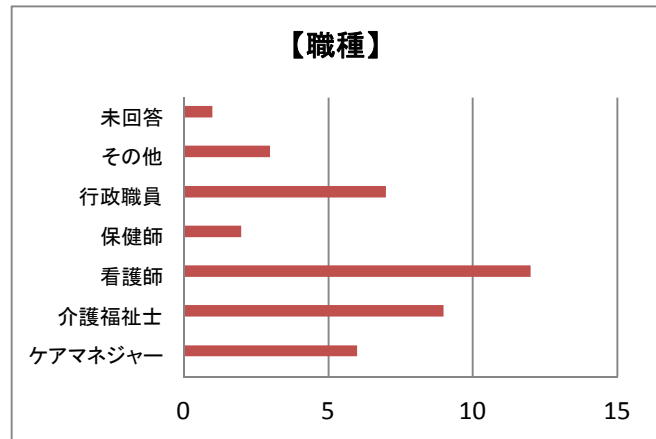
日時: 2016年2月6日(土) 13:30~15:00

会場: 長浜市民交流センター

参加者 39人 アンケート回収率 92%

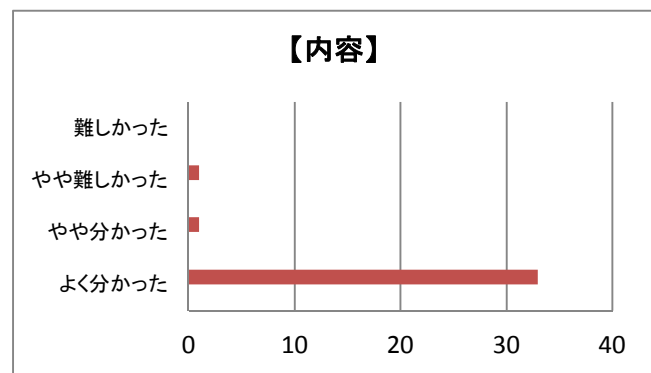
1、あなたの職種は

ケアマネジャー	6
介護福祉士	9
看護師	12
保健師	2
行政職員	7
その他	3
未回答	1



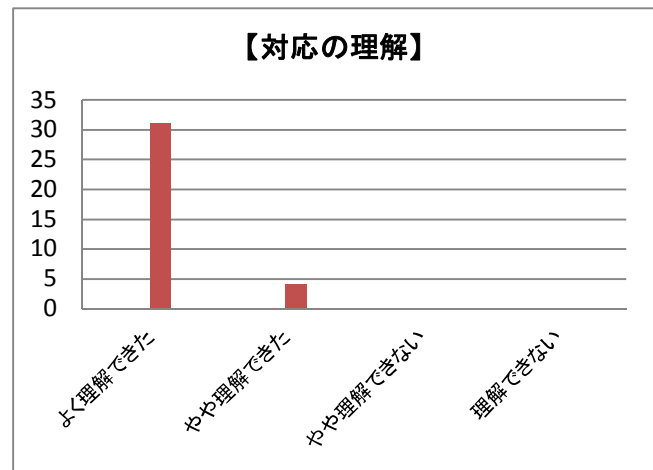
2、講義内容は

よく分かった	33
やや分かった	1
やや難しかった	1
難しかった	0



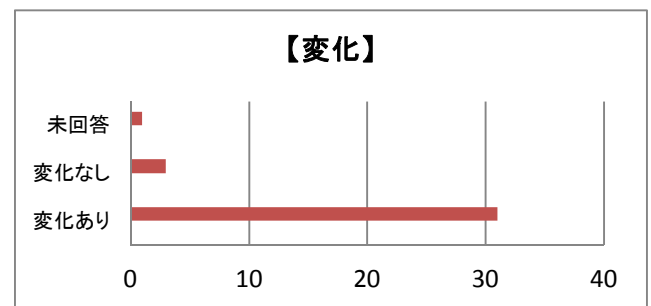
3、対応の理解

よく理解できた	31
やや理解できた	4
やや理解できない	0
理解できない	0



4、視聴後の変化「認知症の方に対する見方」

変化あり	31
変化なし	3
未回答	1



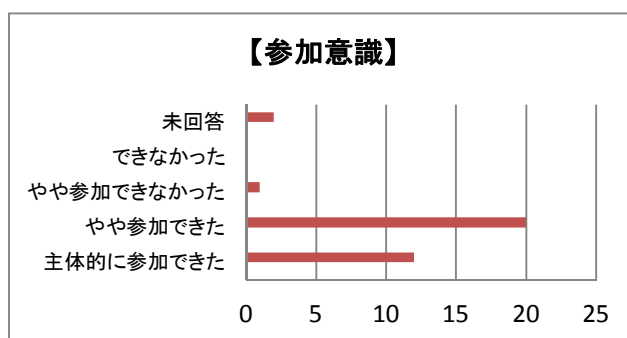
「変化あり」について

- ・ 行動や言動の中に本人の思いがある事(不安・寂しさなど)を見てそこに寄り添った対応を考えていく事が大切だと感じました。人の気持ちや心、人をケアする事の原点があるので、とてもケアする事にやりがいがあります
- ・ アンテナを張り巡らせケアに繋げる事の大切さを再認識できました

- ・ 認知症の方を人として、ケアする事の大切さを学べた
- ・ 重度認知症の方に対して個の理解の大切さがわかった。
- ・ 気づく力・関わる力を少しでも身につけられたらと思います
- ・ メッセージを読み取る力、細かく感じる力が大切
- ・ その人らしさ、その人を知ろうとする意識を持って関わる事が大切かなと思いました
- ・ 諦めないで、本人の言動、しぐさを見ていく。生活歴を知る。話を聞くだけでも違う事を改めて認識
- ・ 受け手である自身のスキルを磨く事で、送り手の十分でないメッセージをしっかりと受け取ってあげる事が大切と思った
- ・ 自分らしく輝いて生きる。認知症の方だけでなく周りの人たちもそうでありたい
- ・ 心の奥に気づく。傾聴する事の大切さ
- ・ その人が生きて来られた背景を知ることが大切だと再認識した。できない事より、できる事に目を向けていきたいと思った
- ・ ちょっとした目線やしぐさなども見逃さない様に、関わりの中で観察したい
- ・ 靴下の穴を気にして「繕い物ができますか？」と聞かれた時の利用者さんの「そりゃそうですよ！」の嬉しそうなお顔が忘れられません
- ・ 生い立ちや興味を知らないと、良いケアに繋がらない事。視線や行動の気づきが大切である事 散歩の目的を明確にする事。理解できました
- ・ 気づきと言うものがケアのスタートであり、とても大切であるという事が分かりました
- ・ 言葉にならない気持ちを見つける事は日頃のプログラムに追われながら大変であると思うけれど思いとケアが繋がった時の喜びはケアワーカー冥利に尽きるのだと感じました
- ・ 問題となる(職員から見)行動ばかりに捉われず、その人の些細なしぐさや表情、目線、行動などにアンテナを張り、その人らしさを見つけていきたいと感じた。
- ・ 気づきと正しい解釈を行って実行する事を知りました。ゆっくり接して、よく聴いてサインに気づける様になりたいと思います
- ・ ダイレクトに築ける関係作りをしていく事が大切
- ・ 業務の中で一人ひとりのその人らしさや希望を、今まで以上に意識して仕事をしていきたいと思えます
- ・ 気づきから結果に繋げるプロセスを養うため、想像力をつけるため、努力し続ける事が大切と分かった
- ・ スタッフが困っている以上に本人さんが困っている思いを、相手や周りに伝えられない、気づいて貰えないと思っている
- ・ 傾聴するだけで満足されているので良いのかと思っていたので、マズローの承認の要求を叶える事が大切だと実感できた
- ・ 認知症だからできないのではなく、心の奥に隠れている事を引き出す気づきが大切
- ・ その人を知る視点、アプローチについて学べた
- ・ 気づきが大切だと感じました。
- ・ 一方的な声掛けでなく、本人と目を合わせて話す
- ・ 認知症と言うものを持っている人でもそうでない人と同じように、まずは対応する事で安心に繋がるという事、認知症の人は特別ではない
- ・ 本人の事に興味を持ち、関心を持つことが大切だと思いました

5. 参加意識

主体的に参加できた	12
やや参加できた	20
やや参加できなかった	1
できなかった	0
未回答	2



6、今後、どのような研修に参加したいか

- ・ 多職種が同じ方向に向かってケアできるようにチームで動けるような研修
- ・ 訪問看護について、医療介護制度について
- ・ 認知症の方の家族ケアについて学びを深めたい
- ・ ターミナルケア
- ・ 多職種でのグループワークはとても有意義だと思います
- ・ 認知症について
- ・ 実例を通じて多職種で話し合える研修会
- ・ 多職種が集まり話し合える場
- ・ 認知症の人への関わり
- ・ 多職種連携について
- ・ 認知症の方への関わりをもう少し勉強したい
- ・ ポジショニング
- ・ 認知症ケア
- ・ 総合事業に移行するが、支援レベルの方への適切な支援



7、ご感想やご意見

- ・ ありがとうございます。(3人)
- ・ 多職種の方と話すの機会は大切です。自施設の若いCWに参加を進めたい
- ・ 認知症の方に対する気づきには、職員のゆとり(時間的・精神的)も必要
- ・ グループワークで様々な方と話せてよかったです
- ・ 勉強になりました。(2人)
- ・ 短い時間でしたが、とても興味深く今後役に立つ研修会でした。認知症の方には急がず、じっくりとお話を聞いて接したいと思いました。ありがとうございました
- ・ DVDで、グループホームで過ごされていて幸せだと感じました。これを家族では、介護者がこれだけ心の余裕を持ってケアができない現状もある。地域の方々にこの思いを一つにできるように啓発が必要
- ・ DVD、グループワーク、とてもいい学びができました
- ・ 自分たちのケアを客観的(ビデオに撮って)に見る事で気づけることが多いなと思いました
- ・ 認知症の人と一緒に困って、一緒に悩むことの大切さを知りました

